

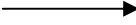
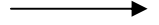


冬野菜の生育状況と2月の価格見通しについて（2月1日現在）  
 （東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類	低温・少雨の影響により出荷数量は減少する見込み。ただし、にんじんは平年並の出荷を見込む。
葉 茎 菜 類	低温・少雨の影響により出荷数量は減少する見込み。ただし、はくさい及びねぎは平年並の出荷を見込む。
果 菜 類	曇雨天・低温の影響は若干あるものの出荷数量は概ね平年並の見込み。
土 物 類	たまねぎについては、収量が低下。ばれいしょ等の出荷数量は概ね平年並になる見込み。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年2月の入 荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			2 月 前 半	2 月 後 半
だ い こ ん	神奈川(63%) 千 葉(33%)	前半は、低温・少雨による影響に加え、千葉県において露地栽培からトンネル栽培への切り替わりにより <u>出荷数量が減少</u> するため、 <u>価格は平年を上回る見込み</u> 。 後半は、日照時間が延びることや気温が上昇した場合には、徐々に <u>出荷数量は平年並に回復</u> し、 <u>価格は概ね平年並</u> になる見込み。		
に ん じ ん	千 葉(72%) 埼 玉(9%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。		

はくさい	茨城(71%) 群馬(15%)	低温・少雨の影響は若干あるものの生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
キャベツ	愛知(58%) 千葉(22%)	低温・少雨の影響により <u>出荷数量が減少</u> するため、 <u>前半の価格は平年を上回る見込み。</u> 後半は、日照時間が延びることや気温が上昇した場合には、徐々に <u>出荷数量は平年並に回復し、価格は概ね平年並になる見込み。</u>	↗	→
ほうれんそう	群馬(25%) 茨城(23%)	低温・少雨の影響により <u>出荷数量が減少</u> するため、 <u>価格は平年を上回る見込み。</u>	↗	↗
ねぎ	千葉(37%) 埼玉(23%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u> ただし、今般の大雪により、西日本の日本海沿岸産地に影響がでた場合には、関東市場から関西市場への転送が活発になり、価格が上昇する可能性。	→	→
レタス	静岡(34%) 茨城(13%)	静岡県においては、低温・少雨の影響により <u>出荷数量が減少</u> するが、 <u>減少分の一部を海外から輸入するため価格は平年並になる見込み。</u>	→	→
きゅうり	宮崎(23%) 千葉(23%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>	→	→

なす	高知(63%) 福岡(18%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>	→	→
トマト	熊本(33%) 愛知(15%)	熊本県においては、曇雨天・低温の影響により <u>出荷数量は平年をやや下回る見込み</u> であるが、 <u>価格は概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
ピーマン	宮崎(30%) 茨城(23%)	宮崎県においては、曇雨天・低温の影響により <u>出荷数量は平年をやや下回る見込み</u> であるが、 <u>価格は概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
ばれいしょ	北海道(59%) 鹿児島(23%)	北海道においては平年の収量をやや下回っているものの、鹿児島においては生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>	→	→
さといも	千葉(41%) 埼玉(26%)	収穫は概ね終了しており平年並であることから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>	→	→
たまねぎ	北海道(72%)	北海道において、 <u>収量は平年の8割程度</u> となっているが、 <u>減少分を海外から輸入するため価格は平年並になる見込み。</u>	→	→